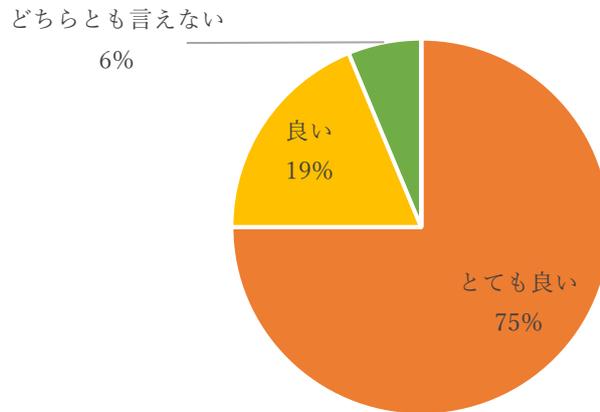
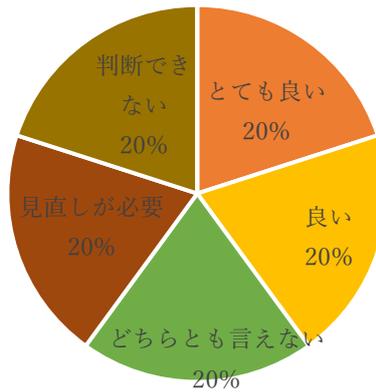


## 第12回福祉を創る学校アンケート結果

### 1. 講演の内容はいかがでしたか？

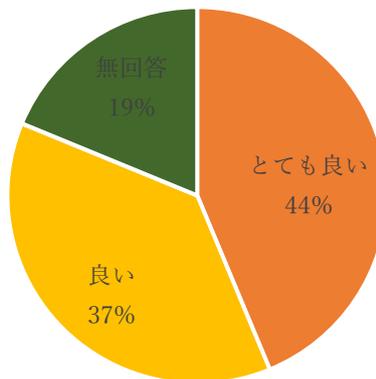


### 2. 講演時間の長さはいかがでしたか？

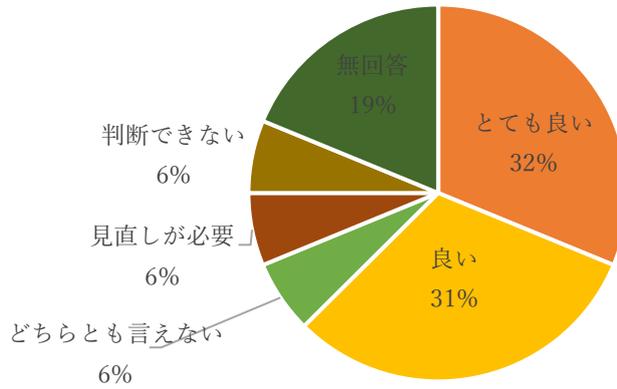


・判断できない→もっとあってもいい、長くても

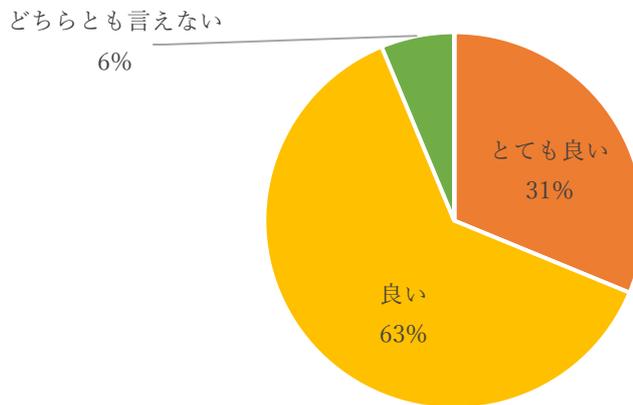
### 3. 意見交換の内容はいかがでしたか？



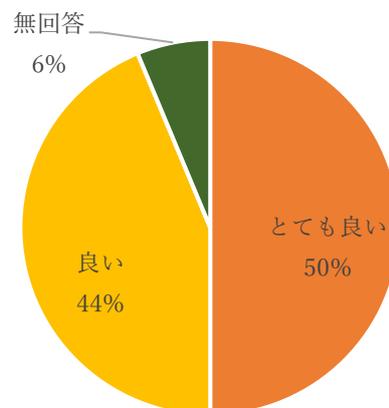
#### 4.意見交換の時間はいかがでしたか？

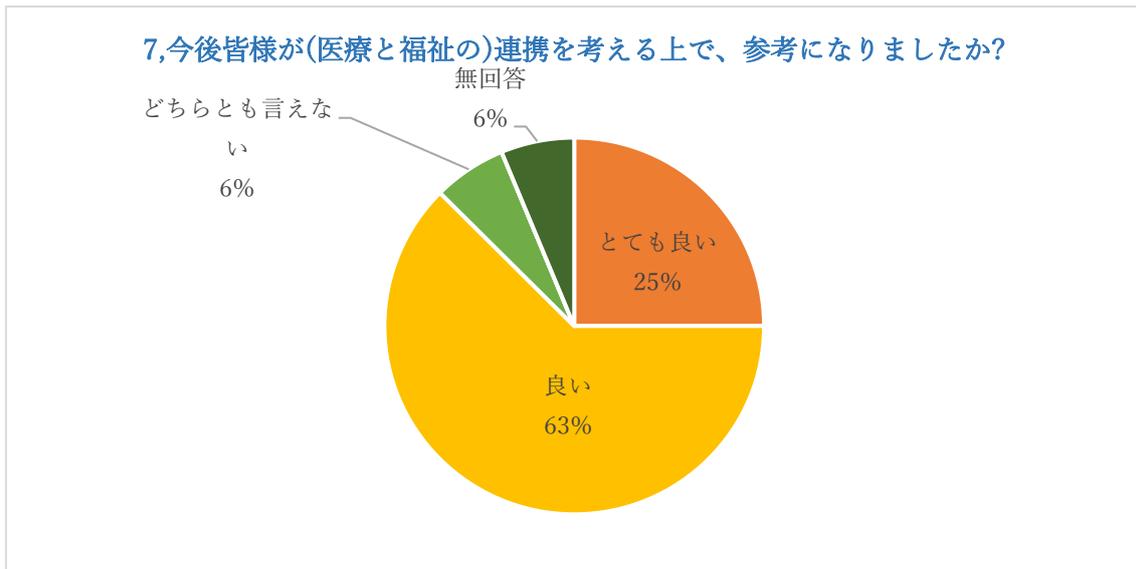


#### 5.会場の場所はいかがでしたか？



#### 6.司会進行はいかがでしたか？





#### 8.福祉を創る学校で取り上げたらよい。と思われるテーマはありますか?

- ・ 保護者・福祉・学校・(地域)医療・地域の連携
- ・ 強度行動障害の住まい
- ・ 効果的なカンファレンスのあり方・やり方
- ・ あるべきカンファレンスのあり方・やり方
- ・ 日常的な医療との連携のあり方について
- ・ (内科・歯科):障害福祉における高齢化への対応
- ・ 障害当事者と支援職員の間関係を豊かにつくる
- ・ 文化としての福祉
- ・ 福祉現場の人の本音
- ・ 精神障害のある方の支援がしたいです
- ・ 大人になった障がいのある方への支援
- ・ 当事者視点とは何か

#### 9.現在興味があること、困っていることなどはありますか?

- ・ 夜間の支援者不足(離職する人のその後。理由が良くわからない)
- ・ 重い障害のある方の一人暮らし支援・みとり
- ・ 自己決定支援 権利よう護(虐待から守る方法)
- ・ 自分らしい生き方・死に方
- ・ 意思決定支援
- ・ 人材確保、すでに従事している人の育成
- ・ “仕事のおもしろみ”をどう伝えていくか
- ・ 企業参入で質の悪い事業所の存在、それにどう対峙していくか
- ・ 支援員のメンタル
- ・ グループホーム入居時の情報を十分にとれていないことがあり、支援のスタート時の情報共有の大切さを実感しています。

## 10.その他ご意見や感想がございましたら、自由に記述してください。

- ・ 学校という言葉が、少しピンときにくいなあ・・・とか
- ・ (医療から入るところの多い、いろいろな人が支援する)高齢福祉に習う、学ぶところも多いなあ・・・とあらためて思いました。
- ・ エビデンスのある支援の重要性を感じました。
- ・ 今は法人内で何かをしようとするのではなく、地域支援マネージャー他コンサルなどにも相談することも大事
- ・ 医療からの福祉 わかりやすくよかったです。
- ・ 医療と福祉 家族と本人の意思のすりあわせをどうすればいいのかなやんでいます
- ・ 1人の個人としてみるという・目の前の一人を大切にする テーマ・主義に共感します
- ・ 課題に対して→なにもしないこと・何かアクションを試すこと→あえてなにもしない・なにもしないわけにはいかない(ジレンマ)
- ・ 効果的なカンファレンスのあり方
- ・ 問題行動→配慮を要する行動
- ・ 「福祉(生活)の中に医療が入っていくスタンスが大事なのではないか」という田中先生のコメントが良かったです
- ・ 田中 Dr の話や進行でのやりとりなどとてもよかったです。
- ・ 指導者は課題解決を図る人となり視点が狭まりがち
- ・ 福祉 医療 教育 家庭の一員など多角的に本人を抑えることが大切ですし、田中 Dr の一緒に考えて答えを見つける人として根気よく仕事したいと思いました
- ・ とても有意義な時間でした。ありがとうございました
- ・ 声をかけて頂きありがとうございます。参考になりました
- ・ 医療(者)側の先生が身近に感じられ良かった
- ・ 福祉側の方々の努力も改めてわかり感謝です
- ・ 榎さんのお話、とても勉強になりました。ありがとうございました

ご協力いただき、ありがとうございました。

またお会いできる日を楽しみにしております。

特定非営利活動法人しろい地図